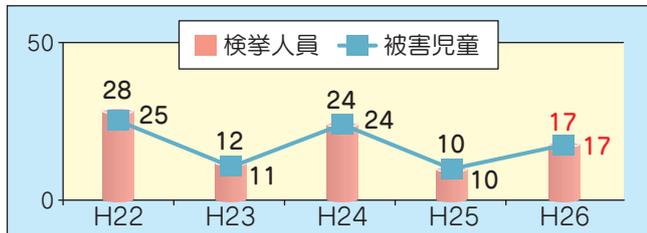


児童虐待から子どもを救おう!!

児童虐待の問題は、社会全体で早急に解決しなければならぬ問題です。

平成26年中に検挙した児童虐待事件は17件で、前年と比べ7件(70%)増加しています。被害児童は17人で同じく7人(70%)増加しています。

児童虐待事件の検挙人員及び被害児童数の推移



★あなたの「通告・通報」が児童虐待から子どもたちを救います。児童虐待の疑いを感じたら、最寄の児童相談所、福祉事務所、警察又は交番等に連絡をお願いします。

～児童相談所全国共通ダイヤル～

☎0570-064-000

- 24時間対応(匿名でOK!)
- お近くの児童相談所に電話をおつなぎします。

緊急の場合は最寄の警察署
または110番

もしかしてストーカー?

ひとりで悩まないで、すぐ相談しましょう!

昨年の県内のストーカー事案の認知件数は、1,425件で、前年と比べ284件(+24.9%)増加し、年々増加傾向にあります。

ストーカー行為とは、あなたに対する好意の感情又はその感情が満たされないことに対する恨みなどの感情から、あなたに対して次の8つの行為(「つきまとい等」といいます。)を反復して行うことをいいます。

- 1 つきまとい、待ち伏せ、見張り、押しかけ
- 2 監視していると思わせるような事項を告げる行為
- 3 面会・交際等の義務のない行為の要求
- 4 粗野又は乱暴な言動
- 5 無言電話、連続電話、連続電子メール
- 6 汚物などの送付
- 7 名誉を害する事項を告げる行為
- 8 性的羞恥心を害する事項を告げる行為



そのまま放っておくとより大きな犯罪に発展するおそれがあります。ひとりで悩まないで、警察やあなたの家族、信頼できる友人等に相談しましょう。

ストーカーに関する相談は、最寄りの警察署の生活安全担当課又は相談窓口へ

- 犯罪の被害にあわれた方々の心のケアは、犯罪被害者相談電話「ミス・リリーフ・ライン」にお電話下さい。臨床心理士がゆっくりお聴きします。

☎092-632-7830

緊急警戒!

ねらわれています!高齢者のみなさん気をつけてください!!
多発する二セ電話詐欺 ・被害額が最悪!

県内の本年2月末の二セ電話詐欺の認知件数は、71件(前年同期比+46件)、被害額は4億5,221万円(前年同期比+2億9,069万円)となっています。また、3月17日には久留米市内で被害額6,330万円の二セ電話詐欺事件が発生しています。このまま多発すると、昨年の被害額約13億円を大幅に上回るおそれがあります。



ストップ!二セ電話詐欺!
電話で「お金」は、すぐ相談!

特徴的傾向

- ★架空請求詐欺、オレオレ詐欺、還付金詐欺等が件数、被害額ともに大幅に増加しています。
- ★だましの名目では、有料サイト名目(架空請求)、会社資金の損失補てん名目(オレオレ)、健康保険料等の払戻し名目(還付金)が多発しています。
- ★息子をかたるオレオレ詐欺では、東京都内や山口県内のJR線の駅へ被害者を呼び出し、現金を受け取る手口が発生しています。
- ★振込型の手口が全体の約40%を占めています。
- ★被害者の約66%が65歳以上の高齢者で、被害者の約78%が女性です。



ふりこません兵衛

被害者への聞き取り状況(2月末現在)

- ・被害者の約50%が被害当時、特殊詐欺の手口を知らなかったと回答
 - ・被害者の約20%が、声かけされた時の対応要領について被疑者から指示があったと回答
- ※主な指示内容～「家のリフォーム代とってください」「親族、知人、行員には言わないように」等

最近の手口 ～「上京型」等のオレオレ詐欺

- 息子などを名乗り、株の失敗や仕事のミス、女性関係等の、他人には相談しにくい名目で現金を要求し、東京や県外に呼び出し、現金を騙し取る「上京型」等の手口が多発しています。
- 犯人は、最初に「風邪をひいた」「携帯電話番号が変わった」などと言って信用させた後に、現金を要求する電話をかけてきます。



金融機関の声かけにより被害を阻止した好事例

2月24日、被害者は、ウズベキスタン通貨への投資のパンフレットが自宅に届いたことから電話すると、犯人から現金500万円を送金するよう言われ、金融機関で預金を引き出そうとしていた。多額の出金を不審に思った行員が声かけを行い、更に被害者方を訪問し、説得して送金を思いとどまらせ、警察に通報して被害を阻止したものです。(小倉南)

女性のみなさん 悪質キャッチに気をつけよう!

最近、県内の商業地区を中心に、若い女性を標的とした悪質なキャッチセールスが横行しています。
昨年の11月上旬、無料エステ体験を装った強引なキャッチセールスを行い、高額な契約を結ばせたとして、特定商取引法違反容疑で関係者7人が逮捕されました。

事件の概要

エステ業者が、福岡市中央区天神地区の路上で若い女性を対象に「無料でエステを体験できる」などと契約の目的を隠して勧誘し、更に店内では「今日は、通常料金の半額になる」などと嘘を言って、脱毛などのエステ契約を結ばせていた特定商取引に関する法律に違反した事件です。

事件の特徴

- 契約者の9割以上が20歳代前半の女性で、その半数を大学生が占めています。
● 費用を払えない学生等に対しては、虚偽の職業や収入を記載させた上で、クレジットカードを組ませるなどして強引に契約を求めます。



防犯ポイント

- ★ エステティックサービスは、特定商取引法により期間が1か月を超え、金額5万円を超える契約であれば、8日間はクーリング・オフ(無条件解約)が可能であり、契約期間内の中途解約もできます。
★ 体験についても強引に勧誘されることがあります。契約する前に十分に説明を受け、本当に必要なものかどうか検討し、必要のないものはきっぱりと断りましょう。
★ クレジット契約の申込み時に収入を実際より多く記入させるなどの虚偽の申告を求めたり、「あなただけに特別なサービス」などとささやく事業者には注意しましょう。

県民一丸となって、暴力団を排除しよう! 「反社会的勢力対策セミナー」の開催

本年3月18日(水)、北九州市小倉北区のホテルにおいて、企業等を対象とした「反社会的勢力対策セミナー」が開催されました。このセミナーは、企業による暴力団等の反社会的勢力対策に資することを目的に、これまで東京、大阪で開催されていたものを、今回、県警察が推進中の工藤会壊滅作戦に合わせて、北九州市暴力追放推進会議等6つの団体が主催し、北九州市内で開催したもので企業関係者等約500人が参加しました。

はじめに、元警察庁長官で(公財)公共政策調査会の片桐理事長は、「工藤会の屋台骨は大きく揺らいでいるが根は残っている。今こそ、資金源という水、肥料を与えることなく絶縁し、工藤会を根絶させる絶好の機会」と訴えました。

次に、吉田福岡県警察本部長は、「工藤会の問題には、警察が全面に立ち、市民と手を携えて暴力団排除活動を推進する。工藤会の関与が疑われる未解決事件を全容解明し、壊滅を目指す。暴排推進の環境は整った。北九州から全国のうねりにひろげよう」と呼びかけました。

次に、県警察の千代延暴力団対策部長による「マイナスをプラスに変える力」、県弁護士会民事介入暴力対策委員会の甲斐田委員長による「反社会的勢力に対する対応」と題した基調講演が行われました。

参加者は、工藤会の壊滅に向けて、一層、暴力団排除意識を高めるとともに、一丸となって暴力団排除に取り組む決意を新たにしました。



地域のか 頑張っています

防犯ボランティア団体の紹介 (ペンリレー)



◎団体名

永大丸西校区生活安全パトロール隊

◎活動地区

北九州市八幡西区永大丸小学校区

◎活動内容等

私たちの団体は、平成17年6月に結成し、現在90名の隊員で、校区内の子ども達の安全確保や地域住民の安全・安心のため、パトロール活動等を行っています。
主な活動は
● 毎日登下校時における児童の安全誘導や見守り活動
● 毎日15日は西町地区、毎月最終木曜日には全校区内で夜間パトロール活動
● 毎週火曜日は、登校時間帯における青パトでのパトロール活動
● 今年の干支は羊(未)です。羊は群れを作って行動する特性を持っています。まちづくりは、センターを拠点にした地域のコミュニケーションづくりを図るものですが、羊の群れのように、地域の人の相互信頼を育み、地域の安全と安心を確立していきたいと思えます。

◎団体名

鞍手町地域安全推進隊

◎活動地区

鞍手郡鞍手町

◎活動内容等

私たちは鞍手町地域安全推進隊は、平成18年10月「子ども達と地域の安全・安心を守る」を合言葉に防犯パトロール隊を発足し、活動を始めました。
鞍手町は、6小学校区に分かれており、それぞれの校区単位に地域安全推進隊を結成し、主に小・中学校の登下校時における見守り活動や防犯パトロール活動を展開しています。
また、毎日行っている登下校時の立番に際しては、子ども達の表情や服装の些細な変化にも気を配り、違和感がある場合は、積極的な声かけを行うなど、子ども達の安全、さらには非行防止に心がけて日々の活動を展開しています。
今後、「子ども達と地域の安全・安心を守る」を合言葉に、地域に密着した活動に励んでいきます。

